2015年8月7日

岡山県感染症週報 2015年 第31週（7月27日～8月2日）

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』を発令しました。（8月6日）

◆2015年　第31週（7/27～8/2）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第29週　2類感染症　結核　1名（90代　男）
　　5類感染症　カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　1名（80代　男）
　　水痘（入院例に限る）　1名（小学生　男）
第30週　2類感染症　結核　4名（幼児　男　1名、60代　男　1名・女　1名、80代　女　1名）
　　4類感染症　レジオネラ症　1名（80代　女）
　　5類感染症　侵襲性肺炎球菌感染症　1名（70代　男）
第31週　2類感染症　結核　4名（70代　女　1名、80代　女　2名、90代　男　1名）
　　3類感染症　腸管出血性大腸菌感染症　3名（O26：幼児　女　1名、O103：30代　男　1名、O157：幼児　男　1名）
　　4類感染症　レジオネラ症　1名（60代　男）
　　5類感染症　アメーバ赤痢　1名（50代　男）

■定点把握感染症の発生状況

○手足口病は、県全体で392名（定点あたり6.11→7.26人）の報告があり、前週より増加しました。
○ヘルパンギーナは、県全体で152名（定点あたり2.13→2.81人）の報告があり、前週より増加しました。

【第32週　速報】

○腸管出血性大腸菌感染症　2名（O157：生徒　男　1名・女　2名）の発生がありました。（8月6日）

【お知らせ】

○次週、2015年第32週（8/3～8/9）の感染症週報は、8月21日（金）にホームページに掲載いたします。

---

1. 腸管出血性大腸菌感染症は、第31週に3名の報告があり、岡山県の2015年第31週（～8/2）までの累計報告数が、17名となりました。第32週（8/6）には、さらに2名の報告があり、患者の発生が続いています。今後もこの傾向が続く可能性があることから、岡山県は、8月6日「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を県下全域に発令し、注意喚起を図ることとしました（岡山県健康推進課ホームページ）。例年、7～8月は最も発生が多くなる時期です。肉の生食は避け、ハンバーグなどは中心部まで加熱しましょう。生肉に触れた手指は石けんで十分に洗い、生肉の調理に使用した調理器具は、熱湯などで消毒してから他の調理に使用しましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『腸管出血性大腸菌感染症注意報　発令中！』をご覧ください。

2. 手足口病は、県全体で392名（定点あたり6.11→7.26人）の報告があり、前週より増加しました。地域別では、真庭地域（11.00人）、岡山市（10.86人）、倉敷市（9.09人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など、詳しくは**「今週の注目感染症」**をご覧ください。

3. ヘルパンギーナは、県全体で152名（定点あたり2.13→2.81人）の報告があり、前週より増加しました。地域別では、備中地域（4.43人）、岡山市（3.36人）、倉敷市（3.18人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。全国の第30週発生状況は、定点あたり2.82人であり、前週（3.34人）より減少しました。都道府県別では、三重県（7.78人）、山梨県（5.54人）、佐賀県（5.48人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、例年8月中は流行がみられますので、今後も発生状況に注意するとともに、感染予防に努めましょう。

手足口病・ヘルパンギーナなど、夏に流行が見られる感染症が多く発生しています。

○どちらの感染症も、特別な治療法はなく、対症療法が中心となります。口の中に水疱ができ食事を取りにくいため、柔らかい薄味の食事など工夫をし、こまめな水分補給を心がけましょう。

○保育園や幼稚園では集団発生することがあります。うがい・手洗いを励行するとともに、おむつや便の取り扱い時には使い捨てのマスクやゴム手袋を着けるなど、感染予防に努めましょう。

○通常、予後は良好な感染症ですが、まれに重症化することがあります。お子さんの状態に注意し、症状が悪化した場合は早めに医療機関を受診しましょう。

流行の推移と発生状況

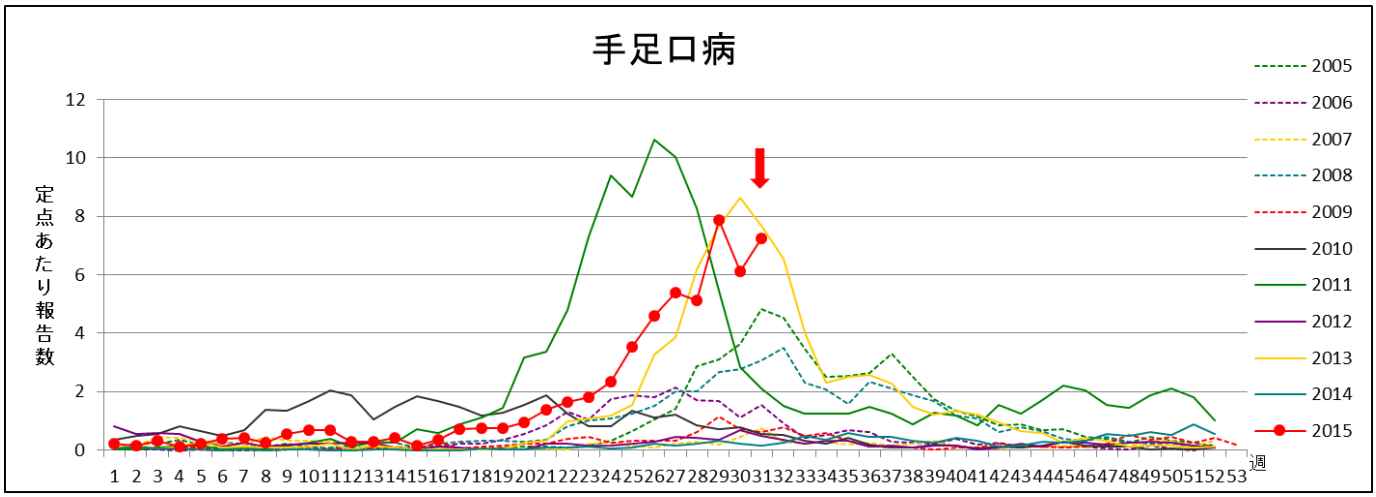
疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RSウイルス感染症	↓	★
咽頭結膜熱	↘	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★
感染性胃腸炎	→	★★	水痘	↘	★
手足口病	↗	★★★	伝染性紅斑	↘	★
突発性発疹	↗	★	百日咳	↑	★★
ヘルパンギーナ	↗	★★	流行性耳下腺炎	↗	★★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↘	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	↓	★★
マイコプラズマ肺炎	↓		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	↓	＊感染性胃腸炎（ロタウイルス）については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ↓:2 倍以上の減少 ↘:1.1～2 倍未満の減少 →:1.1 未満の増減
↗:1.1～2 倍未満の増加 ↑: 2 倍以上の増加
発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

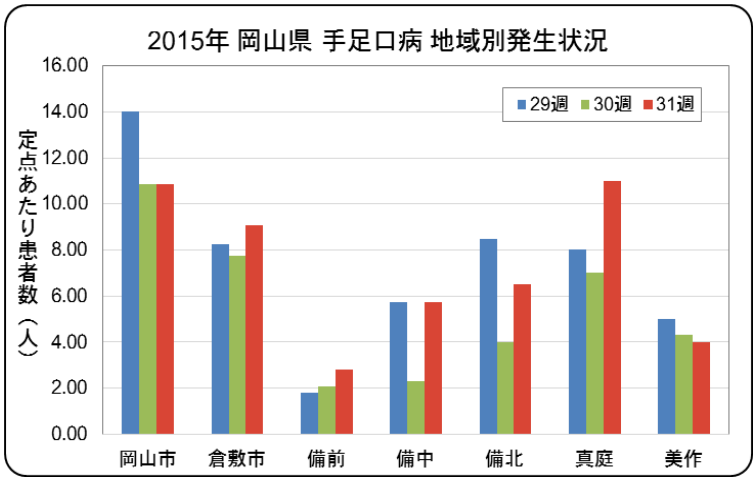
今週の注目感染症

手足口病

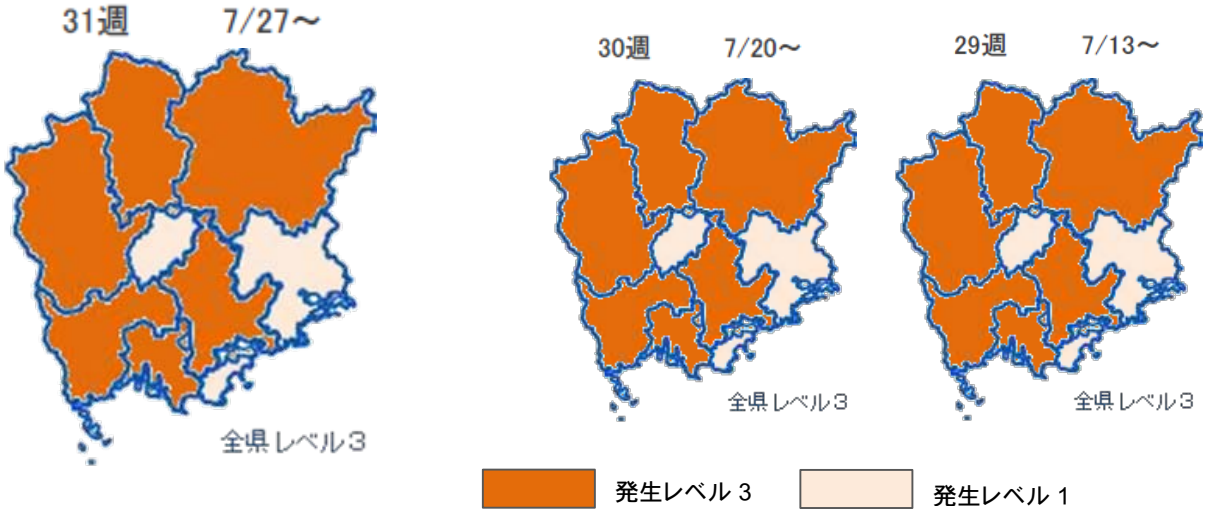
【岡山県の発生状況】



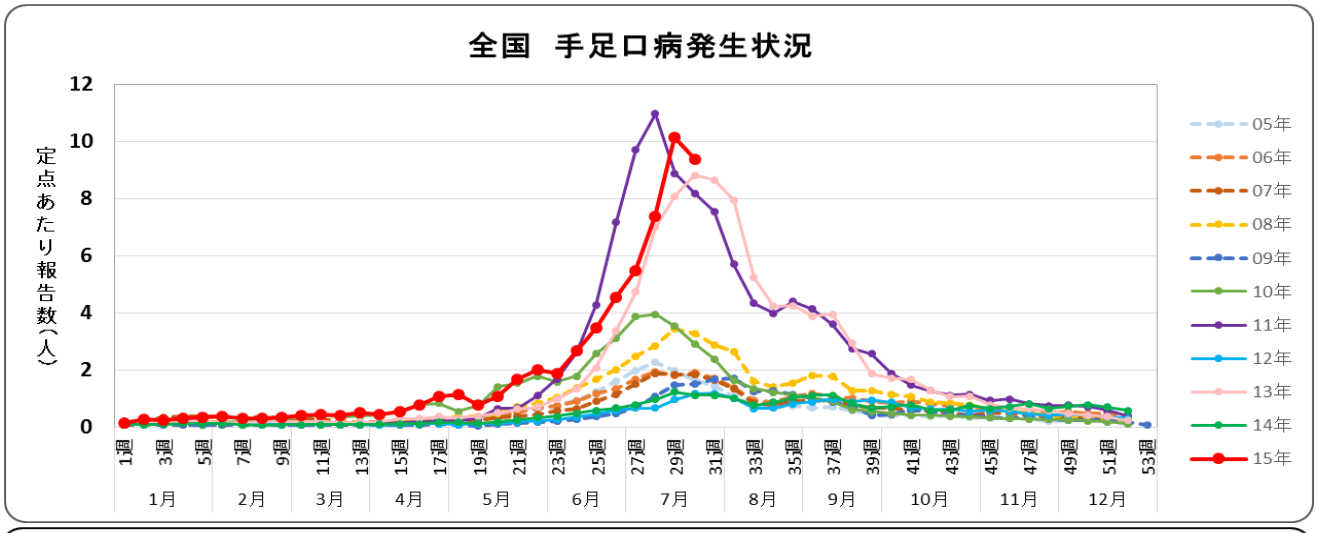
手足口病は、県全体で 392 名（定点あたり 6.11→7.26 人）の報告があり、前週の減少から再び増加に転じました。地域別では、備中地域で定点あたり報告数が倍増しました。備前地域を除く全ての地域で、発生レベル 3 が継続しています。真庭地域（11.00 人）、岡山市（10.86 人）、倉敷市（9.09 人）の順で、定点あたり報告数が多くなっています。例年、7～8 月頃が流行のピークとなりますので、ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い・手指の消毒を励行するなど感染予防に努めましょう。

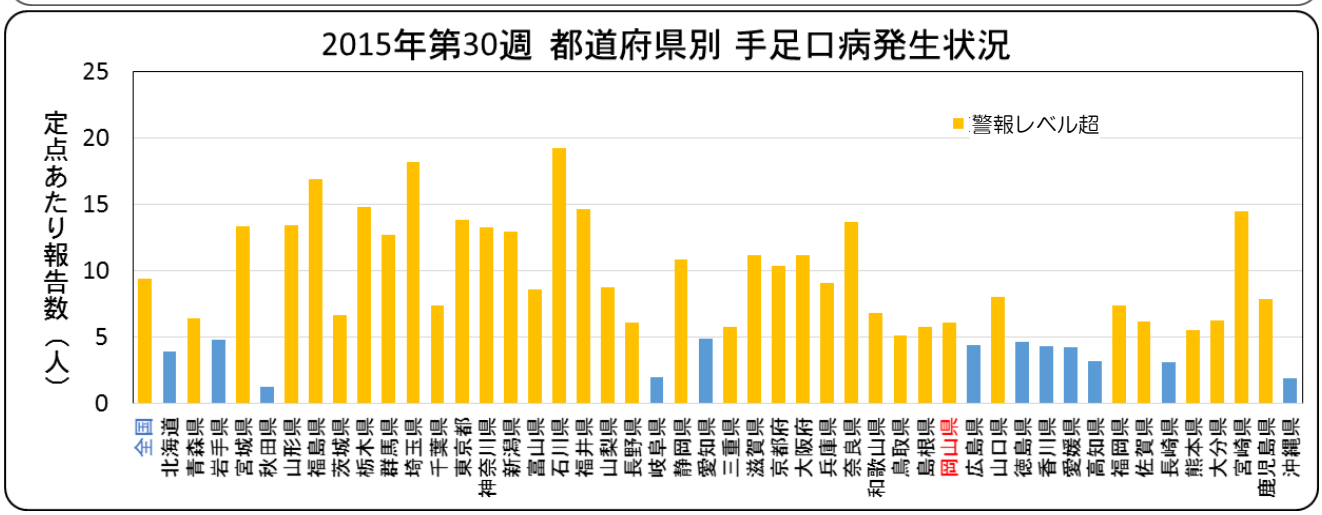


岡山県地区別 手足口病感染症マップ



【全国の発生状況】





全国の第 30 週の発生状況は、定点あたり 9.38 人であり、前週より減少しました。報告数は減少したものの、過去 10 年間の同時期と比較して最も多くなっています。都道府県別では、石川県（19.24 人）、埼玉県（18.16 人）、福島県（16.93 人）の順で、定点あたり報告数が多くなっており、35 都府県で警報レベルを超える流行となっています。

2015 年 7 月 31 日までに報告された全国の手足口病患者からの検出ウイルスは、コクサッキーウイルスＡ16 型（54.1%）が最も多く、次いでコクサッキーウイルスＡ6 型（26.2%）となっています。中枢神経系合併症の発生率が高いといわれるエンテロウイルス 71 型の検出割合は、全体の 0.3%です。

IDWR 速報データ 2015 年第 30 週（国立感染症研究所）
IASR 病原微生物検出情報（国立感染症研究所）

蚊の活動が活発な季節となりました！
蚊が媒介する感染症に注意しましょう。

蚊が媒介する感染症は、デング熱、日本脳炎、マラリアなどがあります。
特にデング熱は、デングウイルスをもつ蚊に刺されることで起こる感染症で、主に熱帯・亜熱帯地域で流行しています。
近年、海外渡航の増加などにより、海外で感染し帰国後発症する輸入症例が増加しており、昨年は、国内感染事例も報告されました。
現在国内には、ウイルスは定着していないと考えられます。しかし、デング熱を発症した人（海外感染）を吸血した蚊（ヒトスジシマカ）は、ウイルスをもつ可能性があることから今後も注意が必要です。

◎蚊に刺されないためのポイント

- 長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出を避ける。
- 虫よけ剤を使用し、蚊を寄せ付けないようにする。
- 室内の蚊の駆除を心がける。
- 蚊の幼虫の発生源をつくらないようにする。
  - 植木鉢の受け皿や空き缶、ペットボトル、古タイヤなどに溜まった水は捨てる。
  - 雨水タンクに蓋をする。

出典：厚生労働省

- 海外渡航の際は、設備（網戸やエアコンなど）が整った宿泊施設を利用する。

保健所別報告患者数(定点把握) 2015年 31週 (2015/07/27～2015/08/02)

2015年8月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
RSウイルス感染症	1	0.02	−	−	1	0.09	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
咽頭結膜熱	9	0.17	4	0.29	1	0.09	1	0.10	2	0.29	−	−	−	−	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	0.67	10	0.71	12	1.09	3	0.30	4	0.57	2	0.50	4	2.00	1	0.17
感染性胃腸炎	258	4.78	33	2.36	67	6.09	41	4.10	15	2.14	13	3.25	6	3.00	83	13.83
水痘	6	0.11	1	0.07	1	0.09	1	0.10	−	−	1	0.25	−	−	2	0.33
手足口病	392	7.26	152	10.86	100	9.09	28	2.80	40	5.71	26	6.50	22	11.00	24	4.00
伝染性紅斑	12	0.22	12	0.86	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
突発性発疹	25	0.46	11	0.79	5	0.45	1	0.10	4	0.57	2	0.50	−	−	2	0.33
百日咳	4	0.07	−	−	−	−	1	0.10	3	0.43	−	−	−	−	−	−
ヘルパンギーナ	152	2.81	47	3.36	35	3.18	24	2.40	31	4.43	3	0.75	6	3.00	6	1.00
流行性耳下腺炎	53	0.98	4	0.29	10	0.91	1	0.10	−	−	−	−	1	0.50	37	6.17
急性出血性結膜炎	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−					−	−
流行性角結膜炎	3	0.25	3	0.60	−	−	−	−	−	−					−	−
細菌性髄膜炎	−	−	−	−	−	−					−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	1	0.20	−	−	1	1.00					−	−	−	−	−	−
マイコプラズマ肺炎	−	−	−	−	−	−					−	−	−	−	−	−
クラミジア肺炎	−	−	−	−	−	−					−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	−	−	−	−	−	−					−	−	−	−	−	−

(− : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数(発生レベル設定疾患) 2015年 31週 (2015/07/27～2015/08/02)

2015年8月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	9	0.17	4	0.29	1	0.09	1	0.10	2	0.29	－	－	－	－	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	0.67	10	0.71	12	1.09	3	0.30	4	0.57	2	0.50	4	2.00	1	0.17
感染性胃腸炎	258	4.78	33	2.36	67	6.09	41	4.10	15	2.14	13	3.25	6	3.00	83	13.83
水痘	6	0.11	1	0.07	1	0.09	1	0.10	－	－	1	0.25	－	－	2	0.33
手足口病	392	**7.26**	152	**10.86**	100	**9.09**	28	2.80	40	**5.71**	26	**6.50**	22	**11.00**	24	**4.00**
伝染性紅斑	12	0.22	12	0.86	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
百日咳	4	0.07	－	－	－	－	1	0.10	3	0.43	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	152	2.81	47	3.36	35	3.18	24	2.40	31	4.43	3	0.75	6	3.00	6	1.00
流行性耳下腺炎	53	0.98	4	0.29	10	0.91	1	0.10	－	－	－	－	1	0.50	37	**6.17**
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	3	0.25	3	0.60	－	－	－	－	－	－					－	－

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル３
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル２　　を示しています。

(－ : 0 or 0.00)　(空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査　週情報　　報告患者数　年齢別　　（ 2015年　第31週　 2015/07/27～2015/08/02 ）

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	1	1	2	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	-	-	2	-	4	5	9	7	2	-	-	6	-	1
感染性胃腸炎	258	5	20	34	26	28	20	20	16	13	10	10	30	6	20
水痘	6	-	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
手足口病	392	5	32	138	73	66	32	16	11	5	5	3	4	-	2
伝染性紅斑	12	-	-	1	1	3	-	4	-	2	-	1	-	-	-
突発性発疹	25	1	8	12	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	4	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	152	1	14	55	21	21	15	10	7	2	-	2	2	1	1
流行性耳下腺炎	53	-	-	5	3	11	10	8	4	4	3	3	1	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-

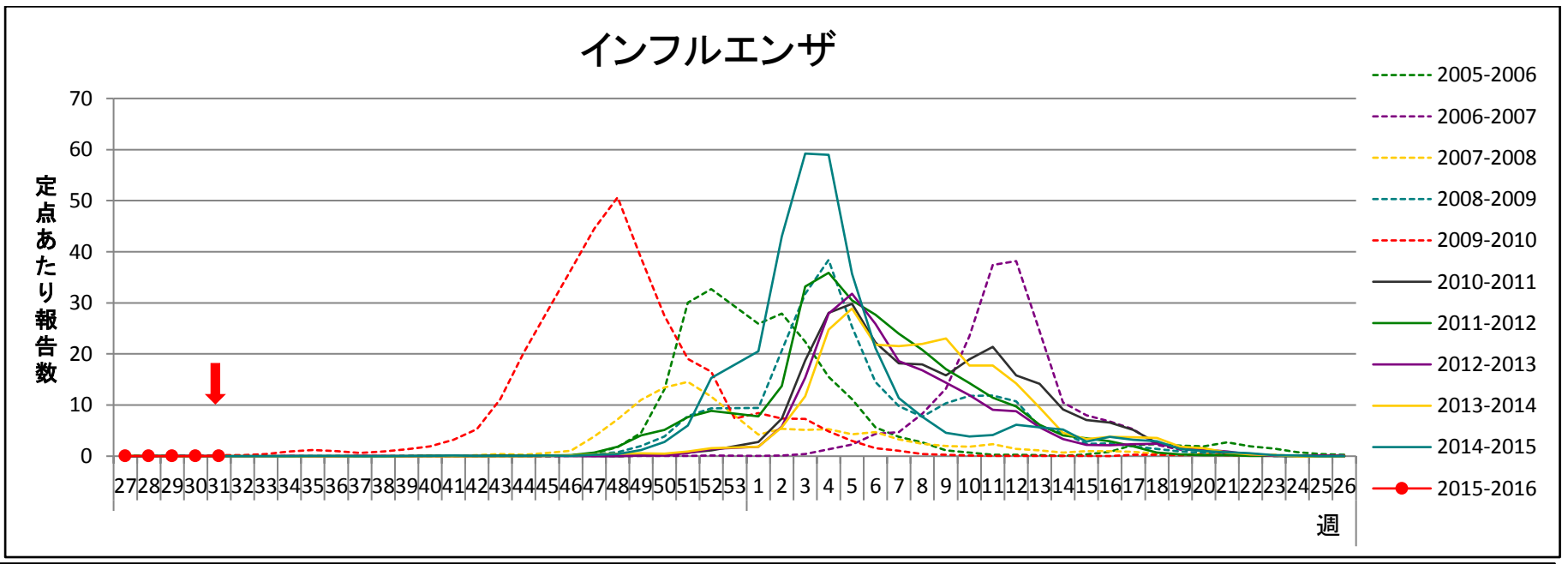
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

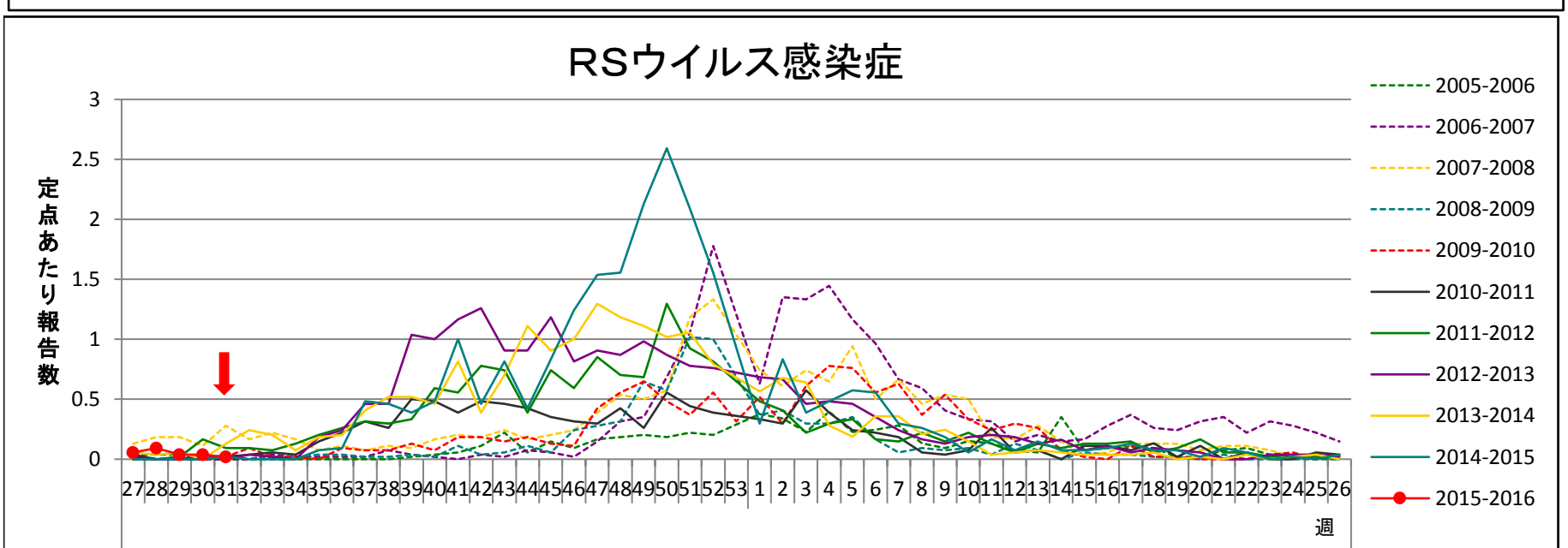
（－： 0 ）

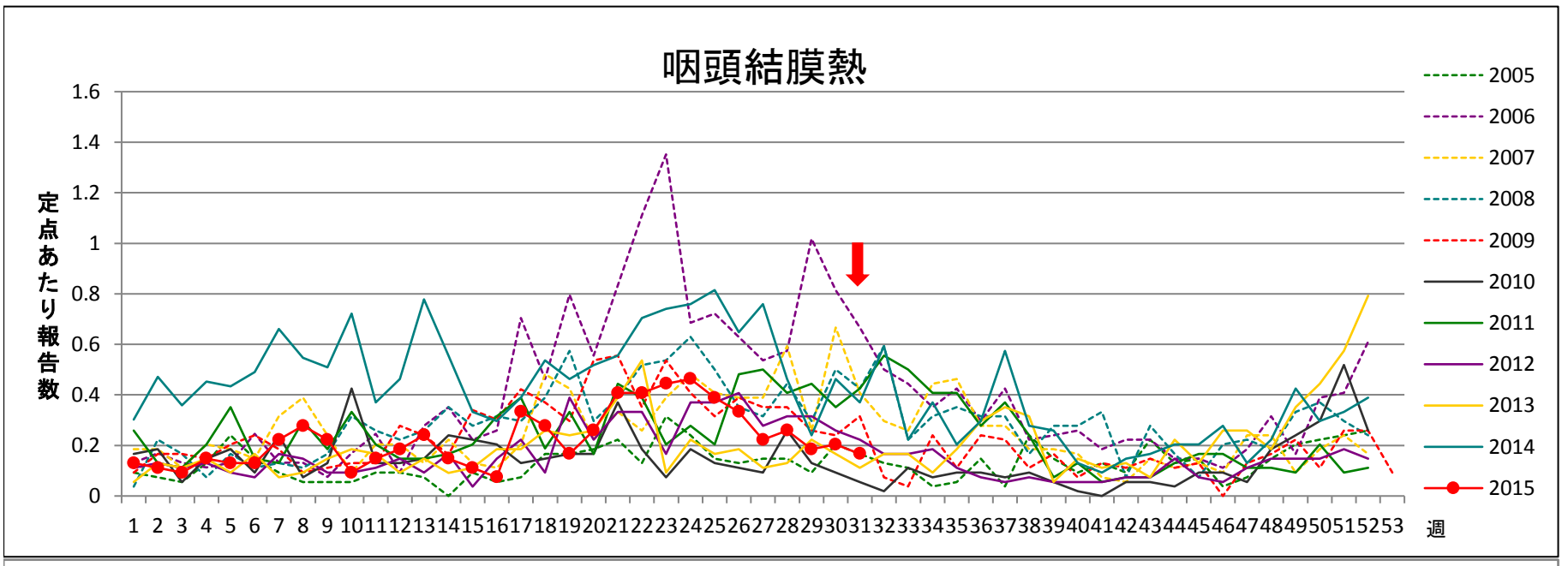
全数把握 感染症患者発生状況

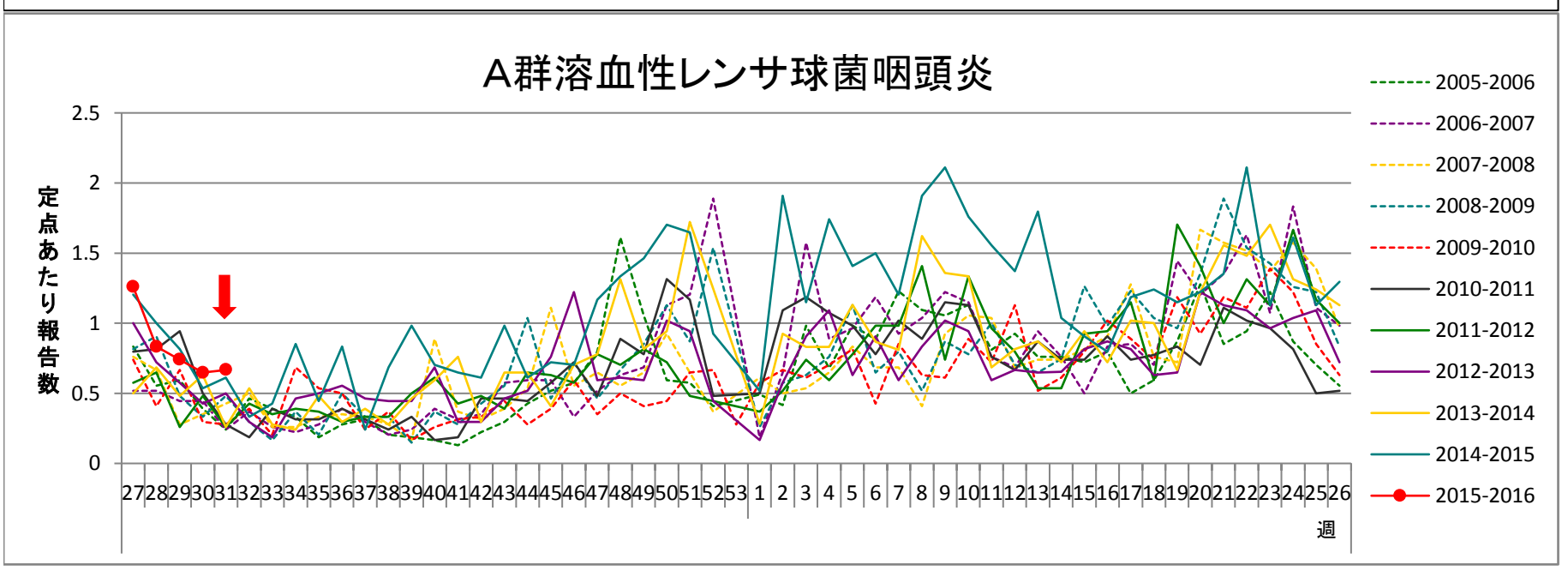
2015 年 31 週

分類	疾病名	2015 今週	2015 累計	2014 昨年	疾病名	2015 今週	2015 累計	2014 昨年	疾病名	2015 今週	2015 累計	2014 昨年
一類	エボラ出血熱	–	–	–	クリミア・コンゴ出血熱	–	–	–	痘そう	–	–	–
	南米出血熱	–	–	–	ペスト	–	–	–	マールブルグ病	–	–	–
	ラッサ熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
二類	急性灰白髄炎	–	–	–	結核	4	194	384	ジフテリア	–	–	–
	重症急性呼吸器症候群	–	–	–	中東呼吸器症候群	–	–	–	鳥インフルエンザ（H5N1）	–	–	–
	鳥インフルエンザ（H7N9）	–	–	–		–	–	–		–	–	–
三類	コレラ	–	–	–	細菌性赤痢	–	1	–	腸管出血性大腸菌感染症	3	17	71
	腸チフス	–	–	–	パラチフス	–	–	–		–	–	–
四類	E型肝炎	–	3	2	ウエストナイル熱	–	–	–	A型肝炎	–	6	8
	エキノコックス症	–	–	–	黄熱	–	–	–	オウム病	–	1	–
	オムスク出血熱	–	–	–	回帰熱	–	–	–	キャサヌル森林病	–	–	–
	Q熱	–	–	–	狂犬病	–	–	–	コクシジオイデス症	–	–	–
	サル痘	–	–	–	重症熱性血小板減少症候群	–	–	2	腎症候性出血熱	–	–	–
	西部ウマ脳炎	–	–	–	ダニ媒介脳炎	–	–	–	炭疽	–	–	–
	チクングニア熱	–	–	–	つつが虫病	–	–	2	デング熱	–	–	1
	東部ウマ脳炎	–	–	–	鳥インフルエンザ	–	–	–	ニパウイルス感染症	–	–	–
	日本脳炎	–	–	–	日本紅斑熱	–	–	4	ハンタウイルス肺症候群	–	–	–
	Bウイルス病	–	–	–	鼻疽	–	–	–	ブルセラ症	–	–	–
	ベネズエラウマ脳炎	–	–	–	ヘンドラウイルス感染症	–	–	–	発しんチフス	–	–	–
	ボツリヌス症	–	–	–	マラリア	–	1	–	野兎病	–	–	–
	ライム病	–	–	–	リッサウイルス感染症	–	–	–	リフトバレー熱	–	–	–
	類鼻疽	–	–	–	レジオネラ症	1	16	32	レプトスピラ症	–	–	–
	ロッキー山紅斑熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
五類	アメーバ赤痢	1	12	12	ウイルス性肝炎*3	–	4	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	–	24	12
	急性脳炎*4	–	10	9	クリプトスポリジウム症	–	1	–	クロイツフェルト・ヤコブ病	–	–	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	–	1	3	後天性免疫不全症候群	–	15	21	ジアルジア症	–	–	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	–	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	–	–	–	侵襲性肺炎球菌感染症	–	21	27
	水痘（入院例に限る。）	–	4	6	先天性風しん症候群	–	–	–	梅毒	–	10	21
	播種性クリプトコックス症	–	1	1	破傷風	–	–	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	–	–	–
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	–	–	2	風しん	–	–	2	麻しん	–	–	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	–	–	–		–	–	–		–	–	–

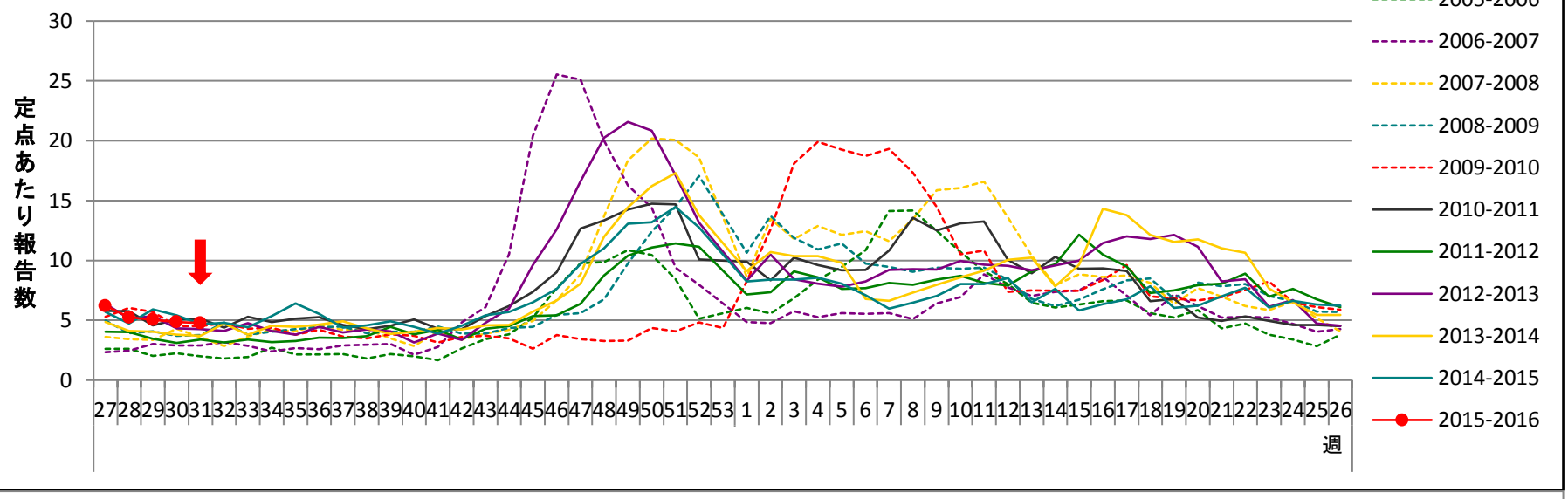

インフルエンザ
定点あたり報告数
70
60
50
40
30
20
10
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016


RSウイルス感染症
定点あたり報告数
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016

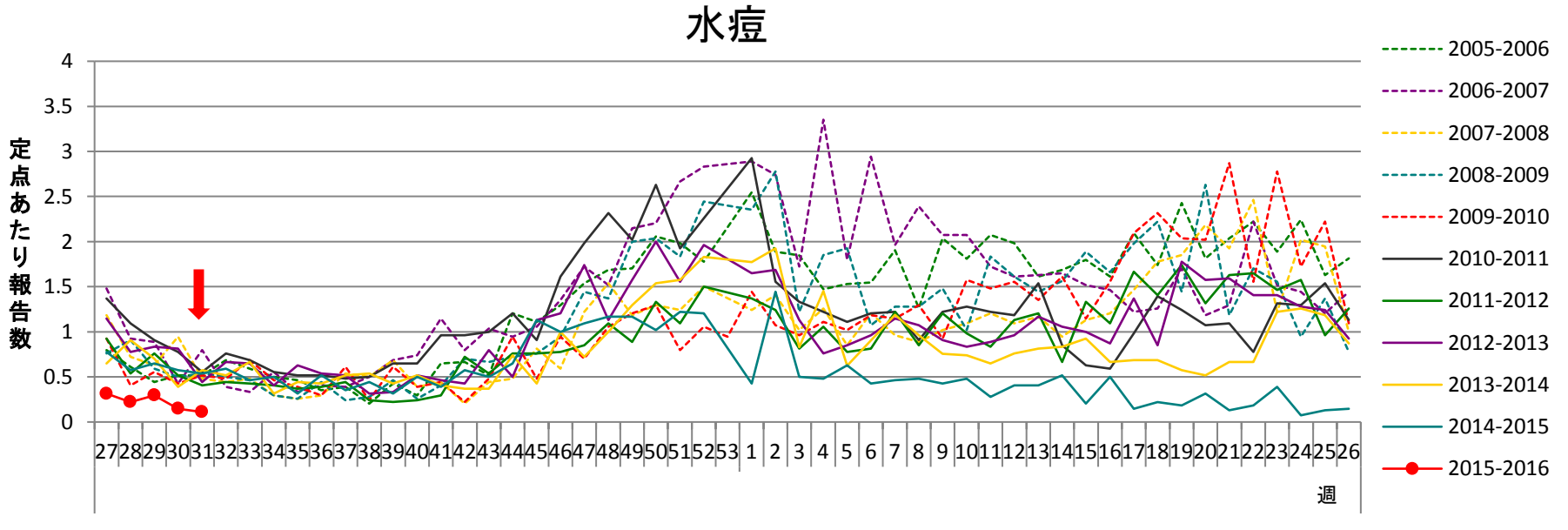

咽頭結膜熱
定点あたり報告数
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016

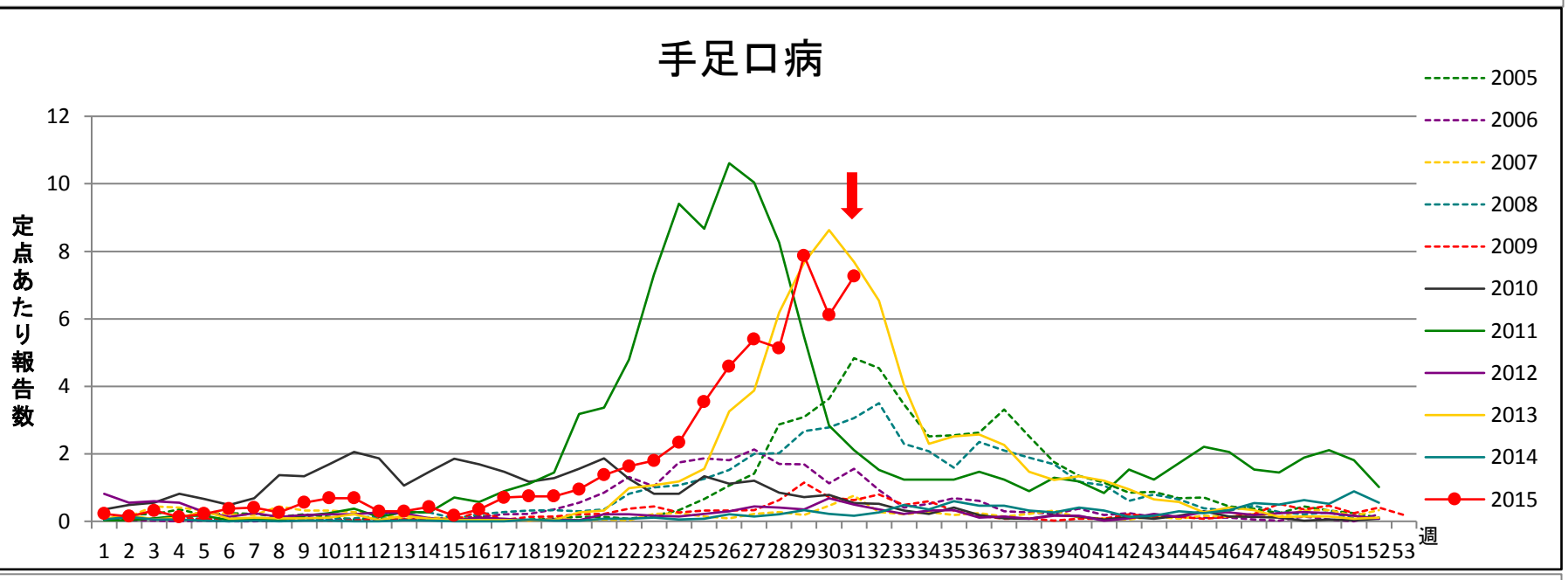
感染性胃腸炎



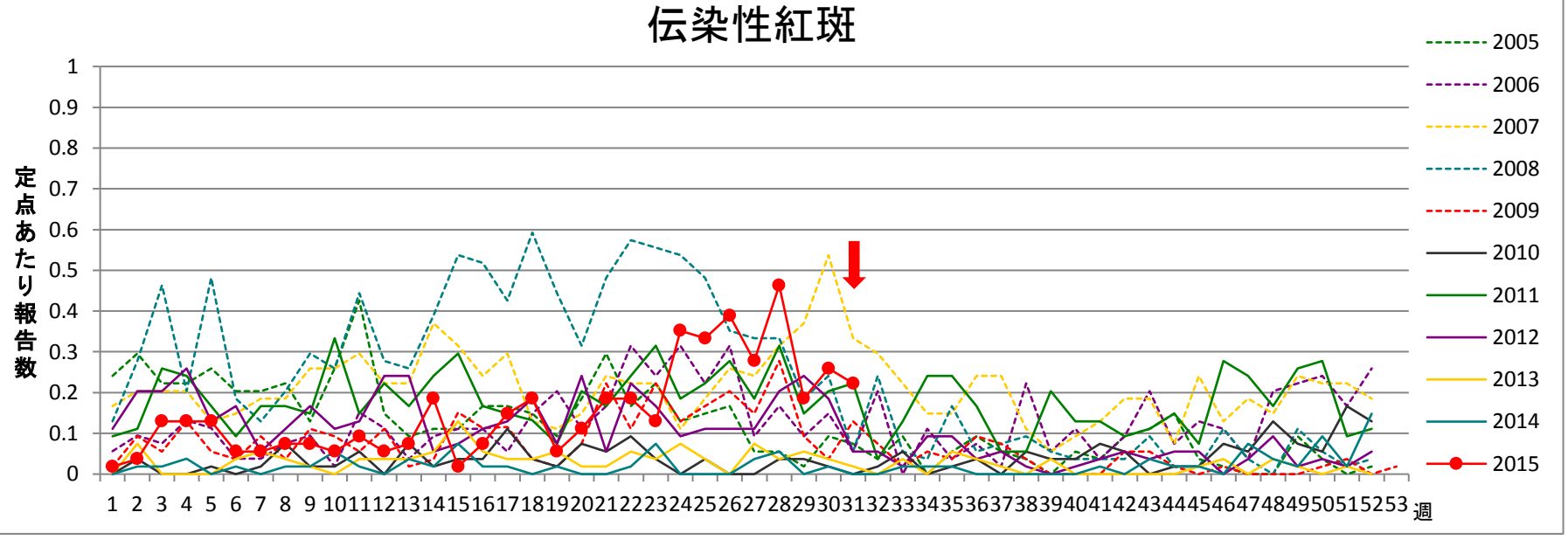
水痘

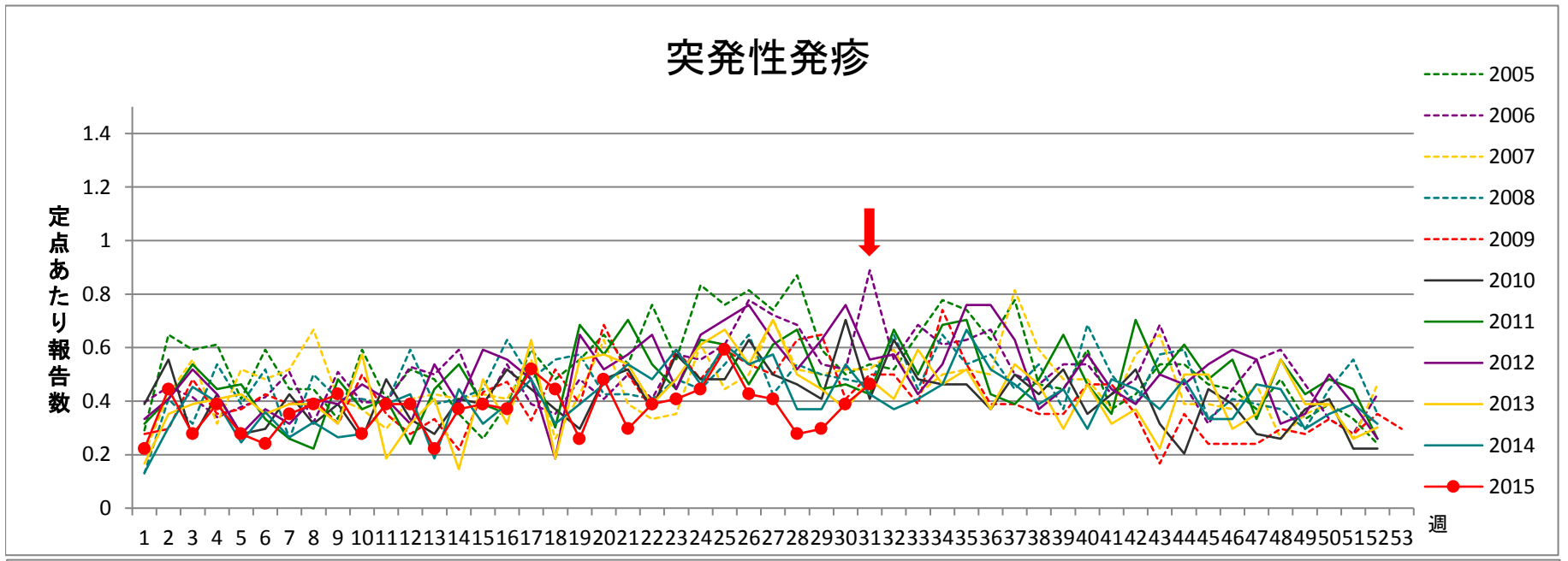


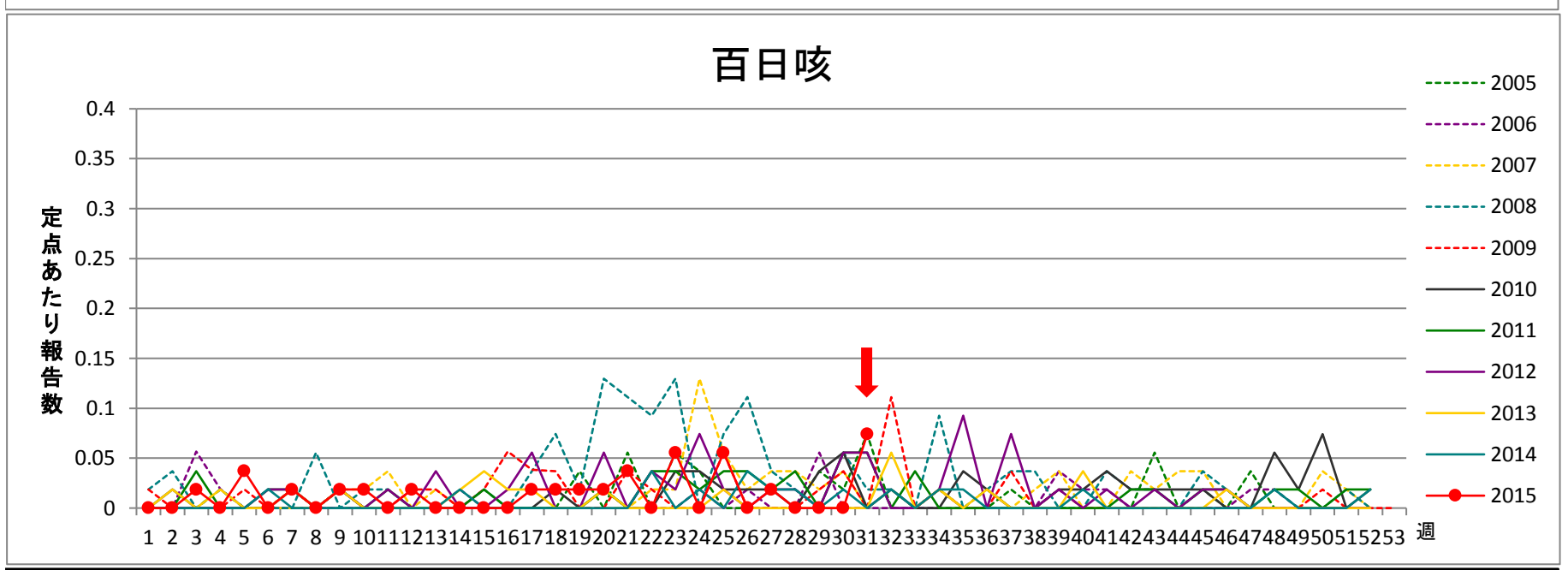
手足口病

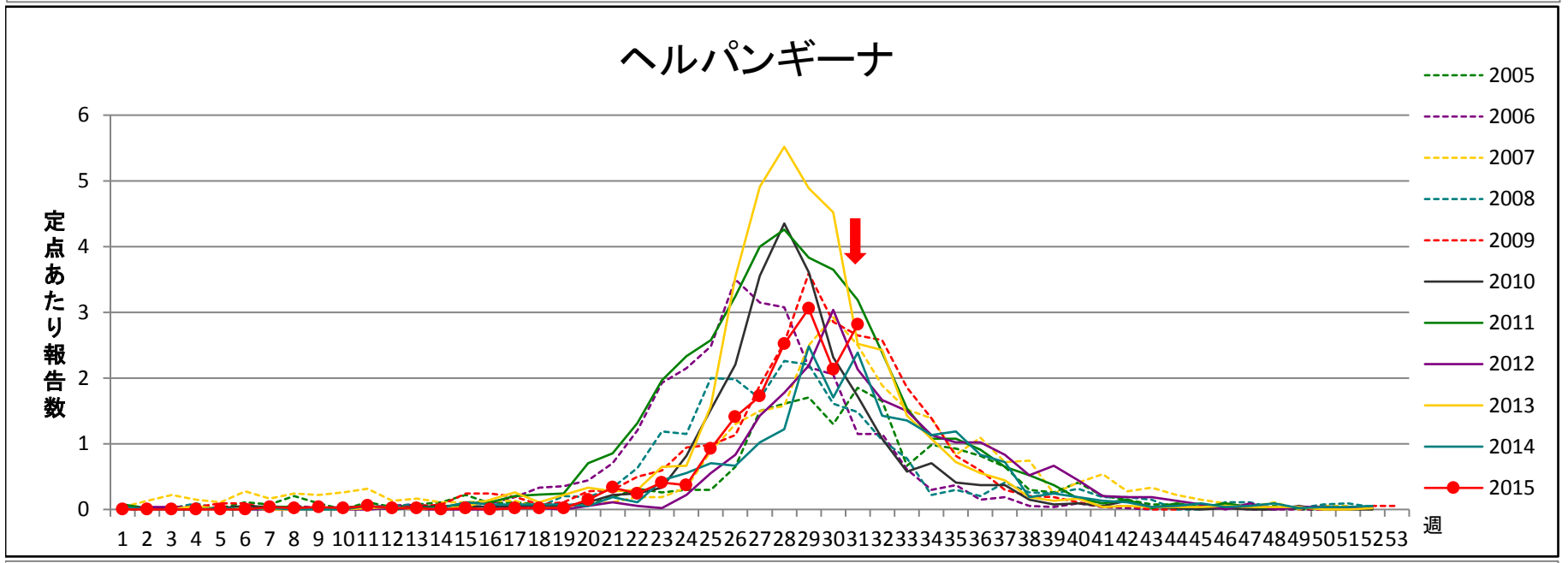


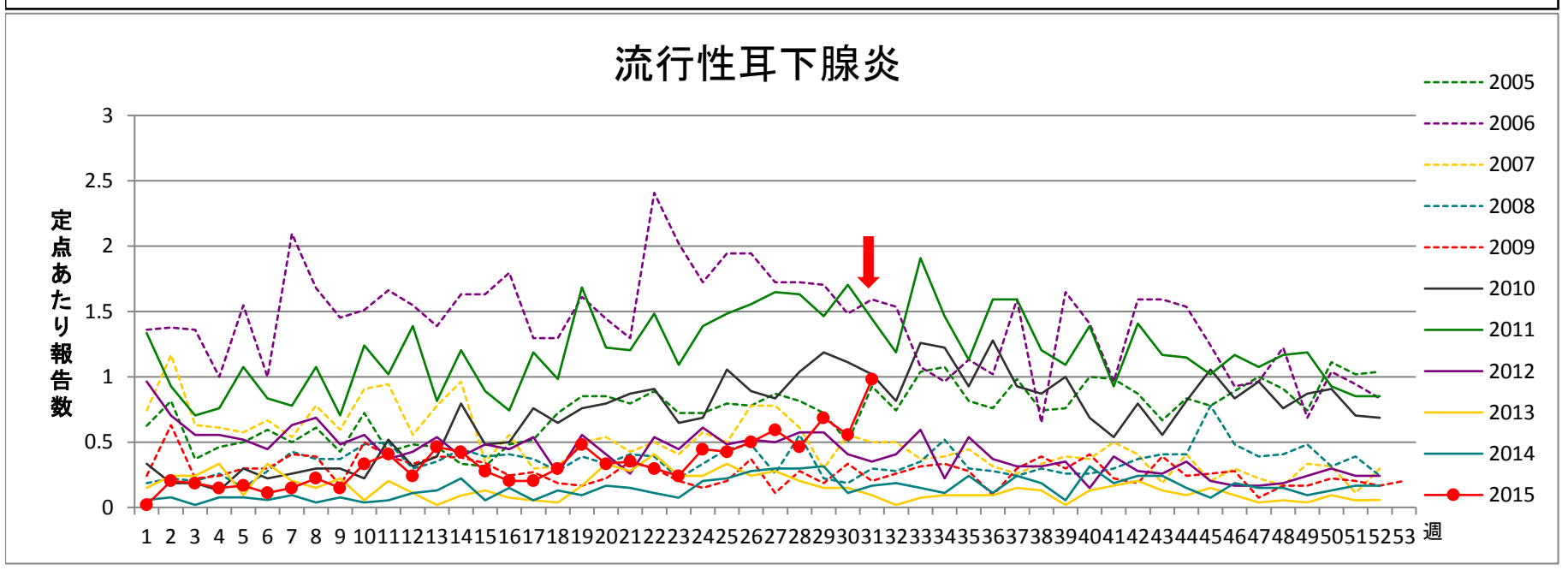
伝染性紅斑

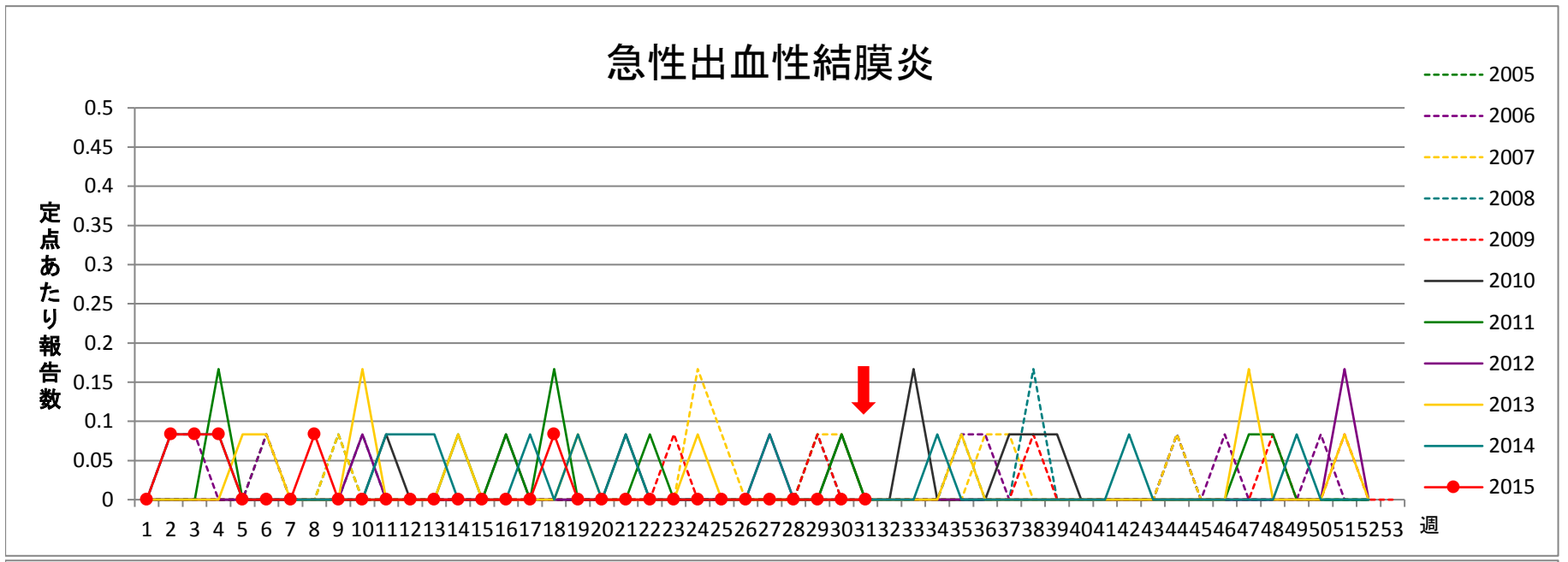


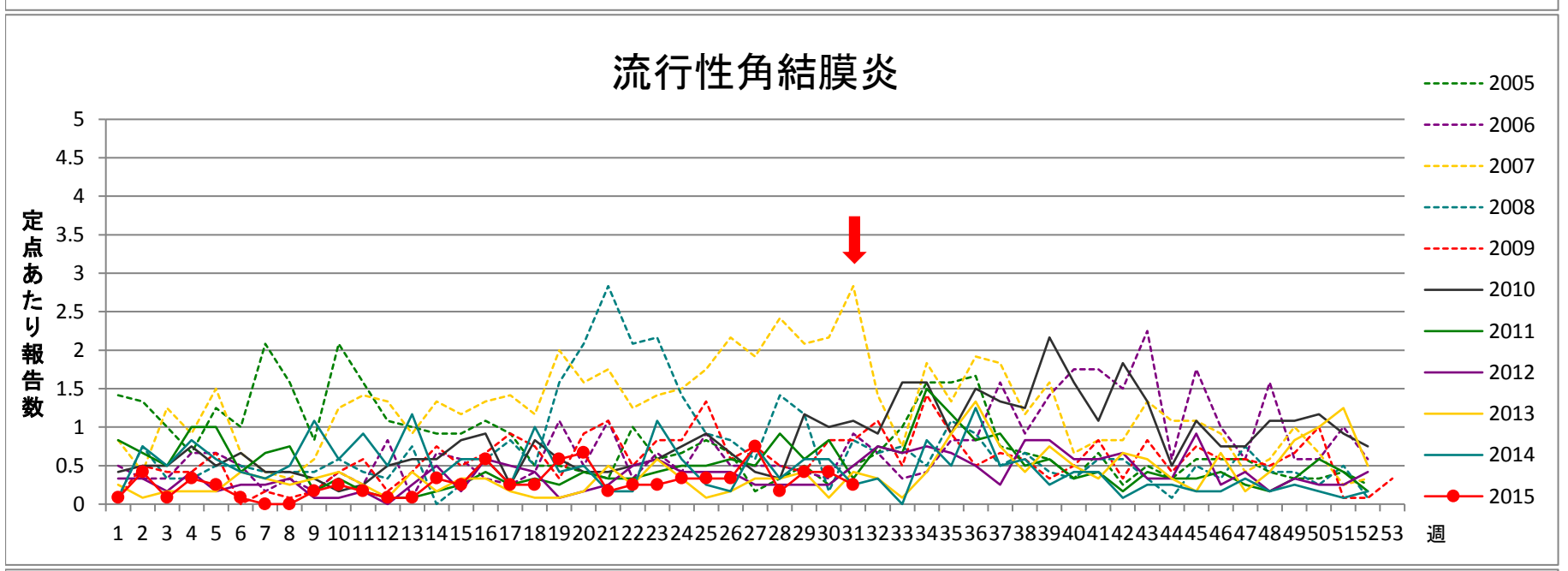

突発性発疹
定点あたり報告数
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015

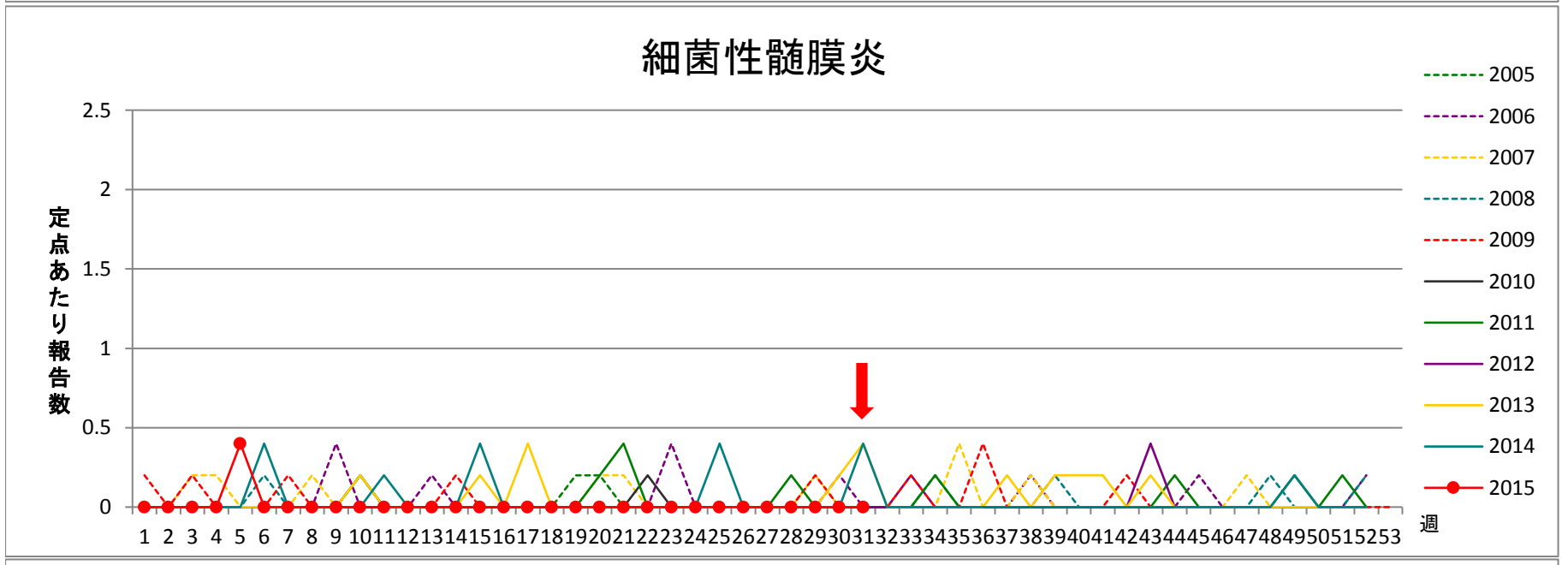

百日咳
定点あたり報告数
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015

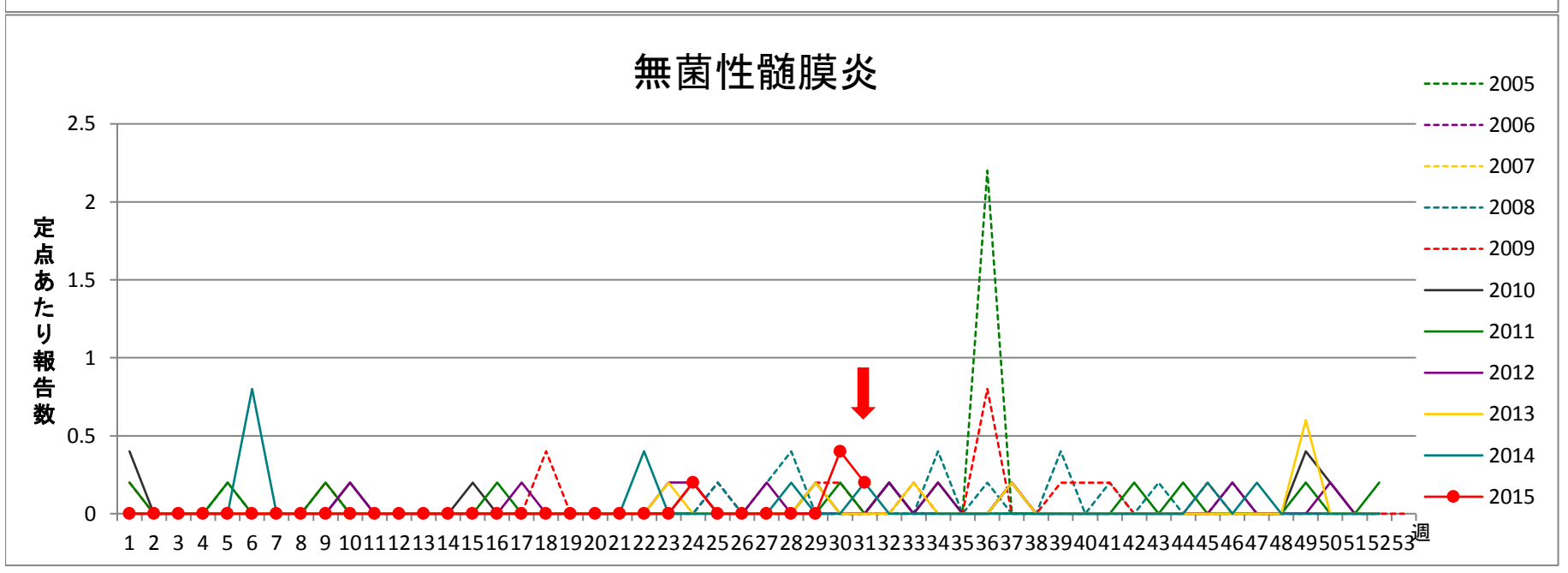

ヘルパンギーナ
定点あたり報告数
6
5
4
3
2
1
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015

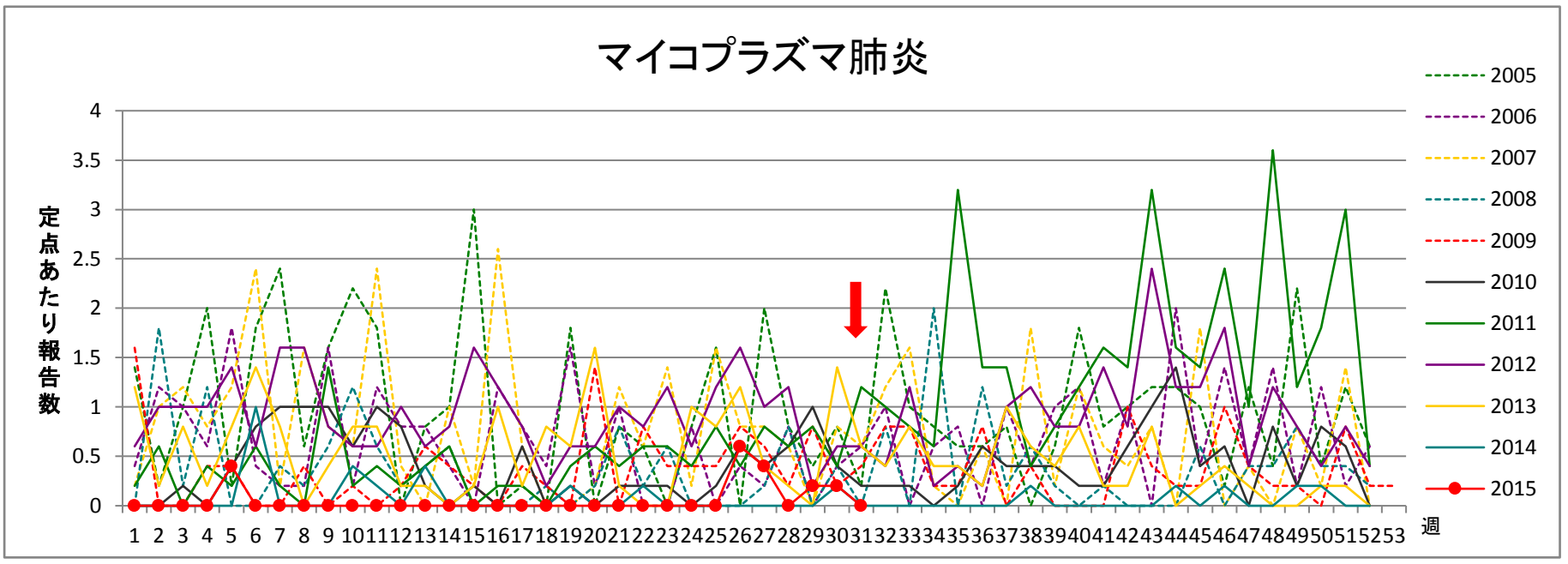

流行性耳下腺炎
定点あたり報告数
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015

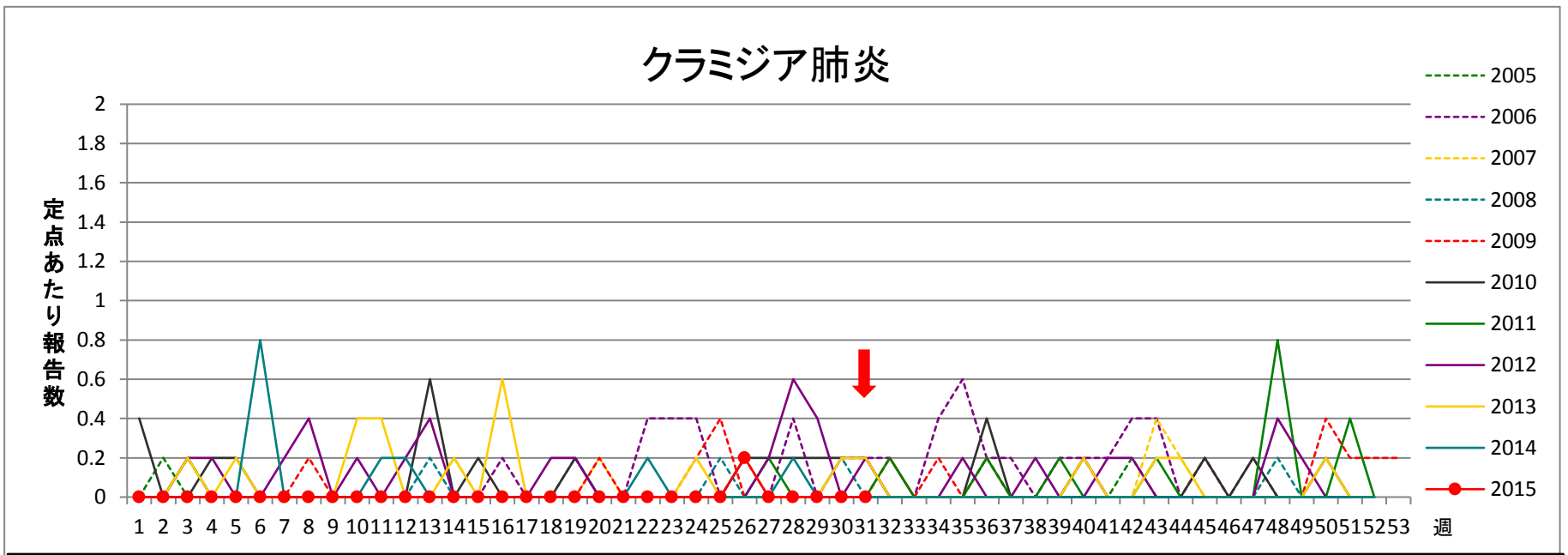

急性出血性結膜炎
定点あたり報告数
0.5
0.45
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015

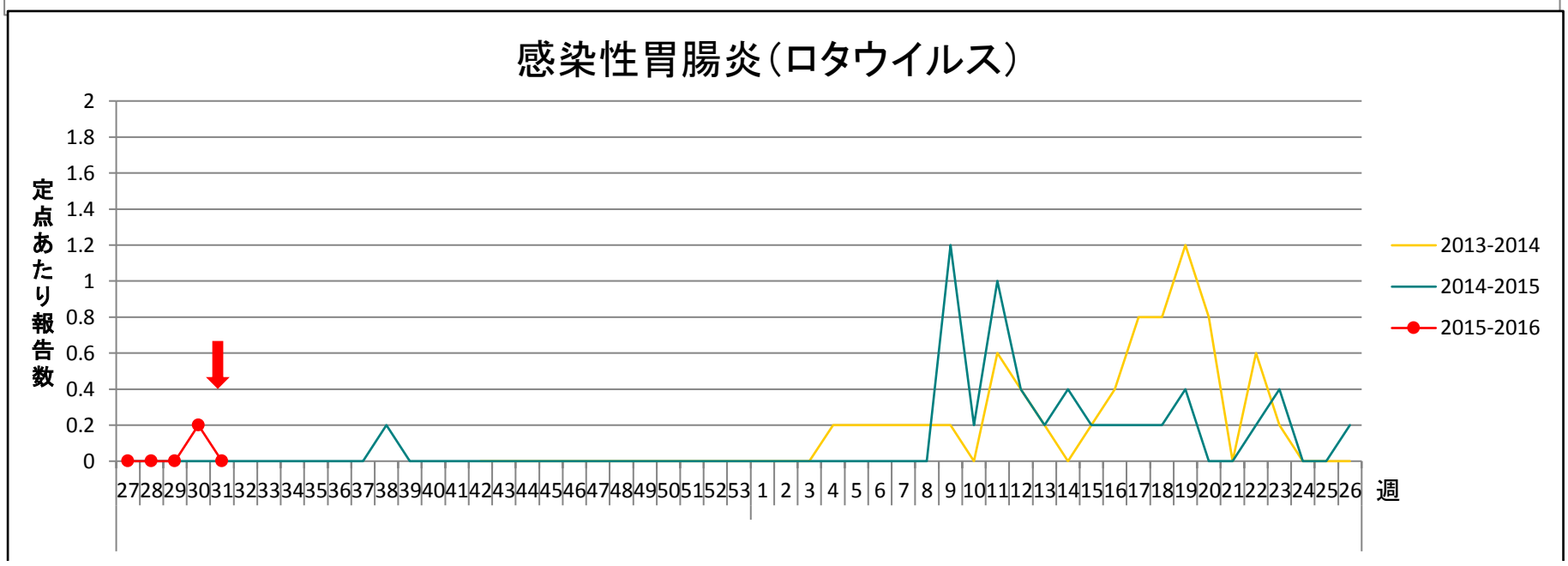

流行性角結膜炎
定点あたり報告数
5
4.5
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015


細菌性髄膜炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015


無菌性髄膜炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015


マイコプラズマ肺炎
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015


クラミジア肺炎
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015


感染性胃腸炎（ロタウイルス）
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2013-2014
2014-2015
2015-2016